

車いすの基本寸法

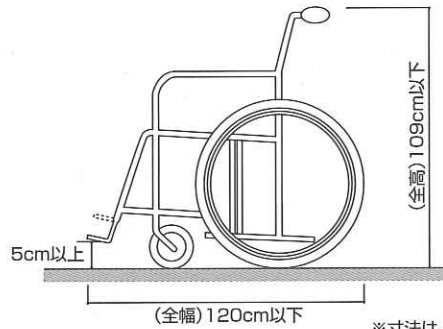
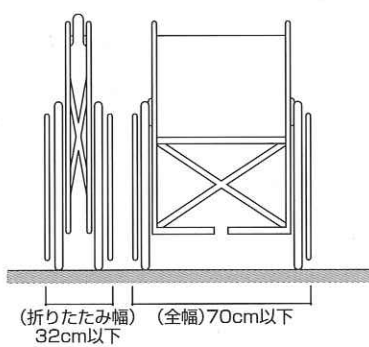
【手動式いすの寸法】

JIS T9201 (車いす)

車いすの形状・寸法はJIS規格(日本工業規格)により定められている。

形式はこの他に、スポーツ型、介助用等がある。平均的な重量は10~15kg程度。

※JIS規格では、全幅は70cm以下としていますが、日本国内の建築関係の現状を考慮のうえ、当分の間、全幅65cm以下が推奨されています。

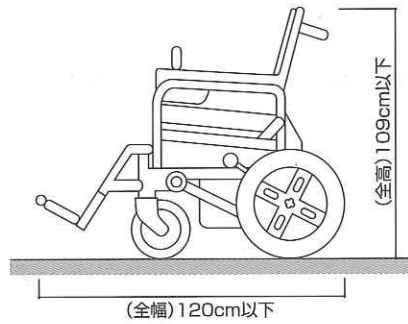
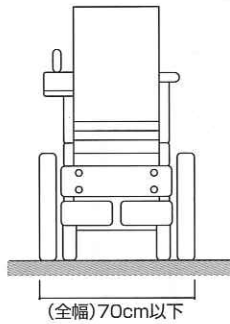


※寸法はJIS規格(自走用標準型)寸法を示す

【電動車いすの寸法】

JIS T9203 (電動車いす)

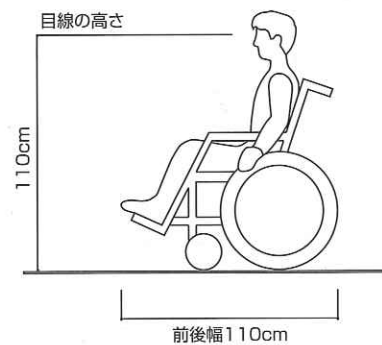
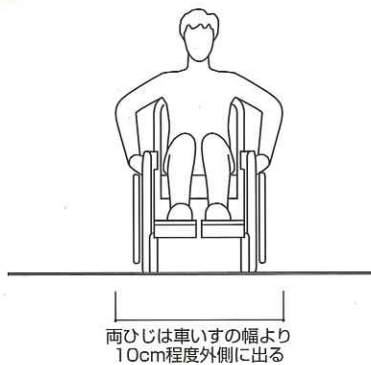
電動車いすの寸法はJIS規格(日本工業規格)により定められている。その性能は、最高速度4.5km/h(低速用)~6.0km/h(中速用)となっており、段差の乗り越えは、助走なしで2.5cm、助走ありで4.0cmとなっている。一般的に一充電連続走行時間は、平坦な路4~5時間程度(軽量型)のものが多く、平均的な重量はバッテリーなどにより60~100kg程度。



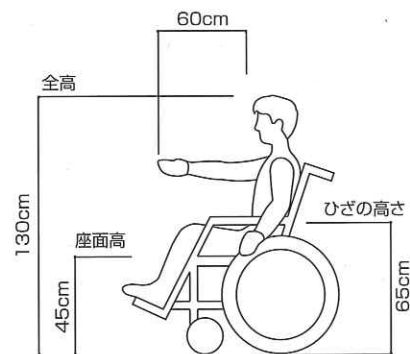
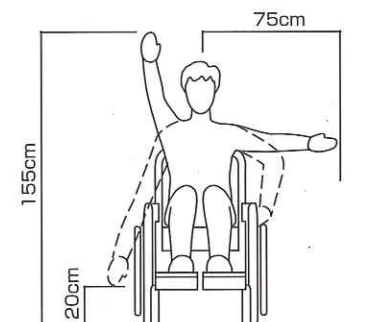
▲ 車いすに乗車した人は、道路交通法上、歩行者に該当します。

車いす使用者の基本動作寸法の目安

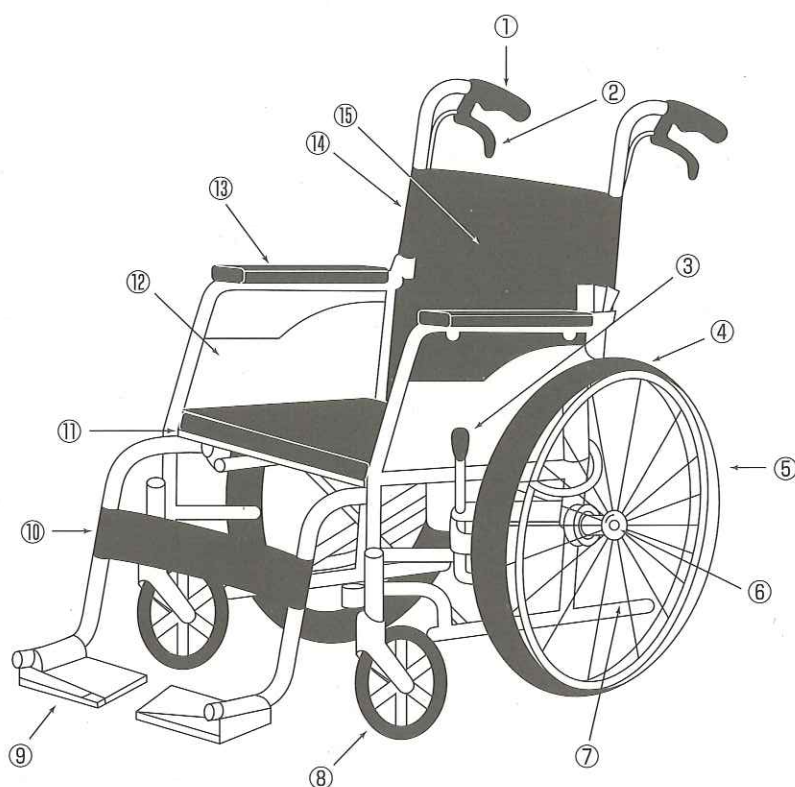
人間工学的寸法



手の届く範囲



車いす各部の名称と考慮すべき点、特徴



番号	名称	考慮すべき点、特徴
①	グリップ	高さ、形状
②	補助ブレーキ握り	操作力
③	ブレーキ	レバーの高さ、形状 身体機能に応じて様々なものがある
④	駆動輪（後輪）	径、車輪幅 自操か否かで径が異なる
⑤	ハンドリム	径、隙間 様々な滑り止め材と形状がある
⑥	車軸	前後位置、高さ 腕の長さ、座高、駆動姿勢、座位バランスなどで決まる
⑦	ティッピングレバー	キャストを上げる時に足で踏む
⑧	キャスト（前輪）	径、フィットレストとの位置関係 外出用には、車輪径を大きく
⑨	フットレスト	プレートの種類、高さや角度、着脱の容易さ 立ち上がりができる方の場合、はね上げ式が着脱できるもの
⑩	レッグレスト	着脱の容易さ 立ち上がりができる方の場合、着脱できるもの
⑪	シート	座角、幅、高さ、奥行 座位姿勢や駆動姿勢、立ち上がりのよさに影響
⑫	スカートガード	材質
⑬	アームレスト	着脱の容易さ、高さ、材質
⑭	フレーム	材質
⑮	バックレスト	材質、高さ、幅 座ったときの脊椎の形で支える。高さは座位バランスで決める